

食品リサイクルの ブランド化に向けループ構築

日本フードエコロジー
センター



食品廃棄物を処理施設に投入、ベルトコンベアの上で人の目と金属探知機など機械による異物除去を行った後破碎、殺菌、発酵処理してリキッド状の飼料を製造



高橋巧一社長

SDGsなどの影響で食品リサイクルへの関心が世界的に高まる中、早くから取り組んできた同社の高橋巧一社長は、「日本は2001年に世界で最初に食品リサイクル法を制定した。食品リ

サイクルの取り組みについて情報発信することで世界でイニシアチブを取ることができるチャンスでもある」ということ

最近は国としても食品リ

サイクルへの取り組みに一段と力を入れ始めていると感じている」と話す。

また、ダイコー事件を受け、「当然不適正処理したダイコーは悪い

が、排出事業者も適正処

理について正しく理解し、適正なりサイクル

が、排出事業者も適正処